※令和４年度以降入学生用

学校番号	3006

令和５年度　工業（建築都市工学系 建築システム専科）

教科	工業科	科目	建築システム実習	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	学校作成教材						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・建築システムの知識や技術について、実習を通して習得します。
・班員全員が協力し、責任を持って行うというチームワークにより、協力の態度を養い、定められた規律を守り、技術者に必要な資質を体験的に理解して身につけましょう。
・課題については期限内に正しく・美しく提出することを念頭に取り組むようにしましょう。
・３つの分野について作図・演習・実習などを行います。

２　学習の到達目標

・建築システムに関する各分野における技術への興味・関心を高め、建築システム技術の広い視野と倫理観を養う。
・各分野における実験・実習方法について学び、理解する。
・同じグループの者と協力して作業を行い、協調性を養う他、積極的に発言することで、チームリーダーとして気持ちも身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築システムに関する基礎的な知識を身につけ、建築技術の発展と環境・資源などと調和のとれたあり方及び現代社会における建築技術の意義や役割を理解している。	建築システムに関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	各実習に興味・関心を持ち、主体的かつ協働的にその改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的・実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	環境	・建築環境工学分野の測定と演習 日影図と日影時間図の作成 パソコンによる日影の検討 室内照度の測定と計算 騒音の測定 残響時間の測定と計算 熱貫流量と結露の計算	a:建築環境工学における基礎的知識と基礎的技術について理解している。 b:日影図の作成や照度・騒音などの測定・計算ができる。 c:建築を取り巻く環境と建築との関係に興味・関心をもち、それぞれの測定結果を考察することができる。	ワークシート	ワークシート 実習　課題	実習観察 振り返りシート
	木工実習	・木材加工 加工図を描く 工具の手入れ 作品制作 墨付け作業 木材加工	a:木工における基礎的な知識と技術・技能を理解している。 b:作品制作過程において工具を正しく使用し、加工図通りに表現することができる。 c:建築の木構造に興味・関心をもち、作品がより良いものになるよう考察することができる。	ワークシート	ワークシート 実習　課題	実習観察 振り返りシート
	パース実習	・建築パースの作図 彩色表現の基礎 外観透視図(着彩) 内観透視図(着彩) 透明水彩での着彩表現	a:透視図と着彩表現における基礎的な知識と技術・技能を理解している。 b:図面を読み取り外観パース・内観パースを描き、着彩することができる。 c:透視図と着彩表現に興味・関心をもち、作品がより良いものになるよう考察することができる	ワークシート	ワークシート 実習　課題	実習観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度